学校番号	218

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解「歴史総合」　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の諸課題の背景にある歴史的な知識を身につけてほしい。そのために新しい歴史的な見方・考え方を働かせ、歴史を考察することでより良い未来を築いていく足掛かりにしてほしい。

日本史と世界史を一体として学ぶことによって，人々の考え方，文化の違いについて理解を深め，グローバル社会を生きるための土台を築き，国際社会のなかで物事を相対的に見つめることができるような広い視野を培ってもらいたい。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしているとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部　歴史の扉 2部　近代化と私たち	1部－ 1章　歴史と私たち 2章　歴史の特質と資料 2部－ 序章　近代化への問い 1章　江戸時代の日本と結び付く世界 2章　欧米諸国における近代化	a:近代化の過程で各国で起こった出来事などの知識を身に付けている。 b:「近代化」とは日本に何をもたらしたのかを考察し、自分の意見を述べることができる。 c:歴史的な出来事に関心をもち、レポート課題に向けて活用しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
	2部　近代化と私たち	3章　近代化の進展と国民国家形成 4章　アジア諸国の動揺と日本の開国 5章　近代化が進む日本と東アジア	a:　近代化の過程で、各国で起こった出来事などの知識を身に付けている。 b:「近代化」とは人類に何をもたらしたのかを考察し、自分の意見を述べることができる。 c:既習した内容を踏まえて、「近代化」が世界に与えた影響を評価しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート

2学期	第3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	序章　国際秩序の変化や大衆化への問い 1章　第一次世界大戦と日本の対応 2章　欧米諸国における近代化	a: 20 世紀前半、二度の世界大戦を経験する各列強国で起こった出来事を国際秩序の変化と結び付けて理解している。 b: 「国際秩序の変化」における欧米諸国の役割を考察し、自分の意見を述べることができる。 c: 歴史的な出来事に関心をもち、レポート課題に向けて活用しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
	第3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	3章　日本の行方と第二次世界大戦 4章　再出発する世界と日本	a:20 世紀前半、二度の世界大戦を経験する各列強国で起こった出来事を国際秩序の変化と結び付けて理解している。 b: 「国際秩序の変化」における日本の役割を考察し、自分の意見を述べることができる。 c: 既習した内容を踏まえて、複数の国の歴史が互いに関係し合うことに関心をもち、世界大戦が勃発する理由を考察しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
3学期	第4部　グローバル化と私たち	序章　グローバル化への問い 1章　冷戦で揺れる世界と日本 2章　多極化する世界 3章　グローバル化のなかの世界と日本	a:20 世紀後半の冷戦構造と冷戦後の国家間の関係性を理解している。 b:冷戦期を経験した世界が、今我々が生きている 21 世紀に何を形成したか、また、これからの展望を考察できる。 c:現代の諸課題に、ここまで既習してきた歴史的な要因を求めて考察しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度